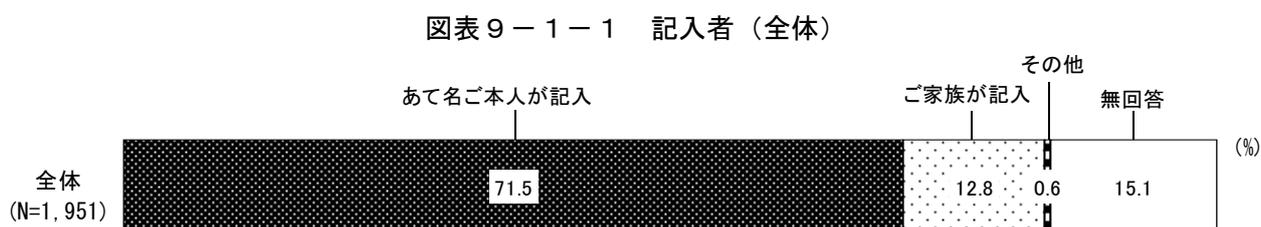


第9章 高齢者日常生活圏域ニーズ調査

1 基本属性

(1) 記入者 (問2)

記入者は、「あて名のご本人が記入 (71.5%)」が最も多く、「ご家族が記入 (12.8%)」が続いている。(図表9-1-1)



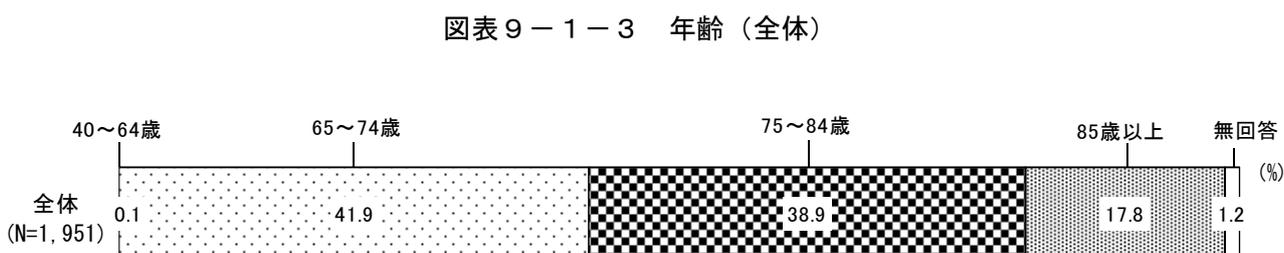
(2) 性別 (問3)

性別は、「男性」が38.6%、「女性」が60.6%となっている。(図表9-1-2)



(3) 年齢 (問3)

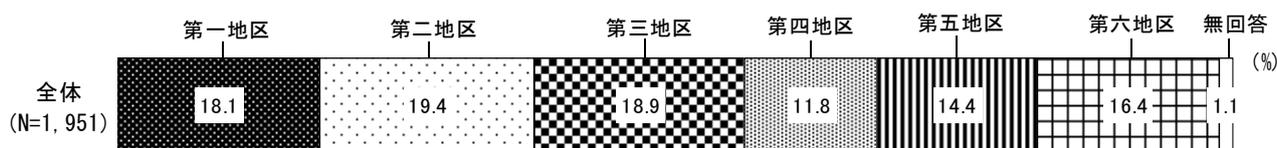
年齢は、「65~74歳 (41.9%)」が最も多いが、「75~84歳 (38.9%)」と「85歳以上 (17.8%)」を合わせると、75歳以上が6割弱となっている。(図表9-1-3)



(4) 居住地域 (問4)

居住地域は、「第二地区(19.4%)」が最も多く、「第三地区(18.9%)」、「第一地区(18.1%)」が続いている。(図表9-1-4)

図表9-1-4 居住地域 (全体)



(5) 家族構成 (問5)

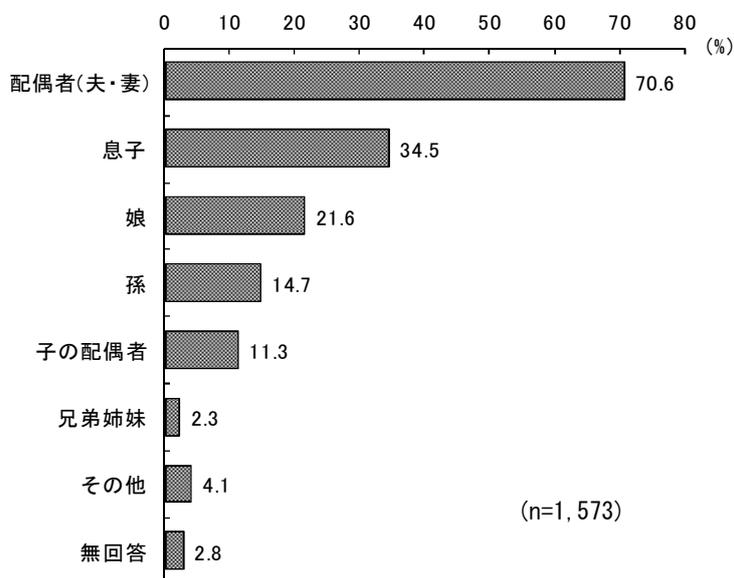
家族構成は、「家族など同居」が80.6%、「ひとり暮らし」が16.5%となっている。(図表9-1-5-①)

図表9-1-5-① 家族構成 (全体)



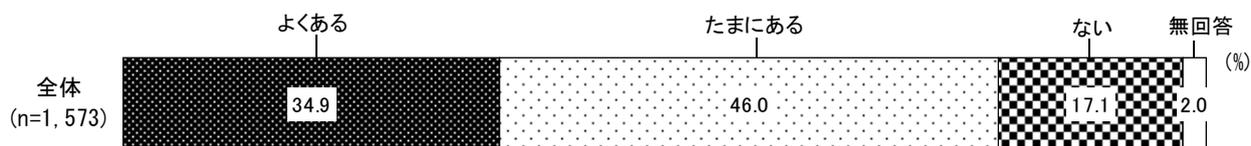
家族など同居している人に同居している人をたずねたところ、「配偶者(夫・妻)(70.6%)」が最も多く、「息子(34.5%)」、「娘(21.6%)」が続いている。(図表9-1-5-②)

図表9-1-5-② 同居している家族 (全体：複数回答)



家族などと同居している人に日中一人になることがあるかたずねたところ、「よくある」が34.9%、「たまにある」が46.0%であり、合計すると80.9%が日中一人になることが《ある》と回答している。(図表9-1-5-③)

図表9-1-5-③ 日中一人になること (全体)



(6) 介護・介助の状況 (問6)

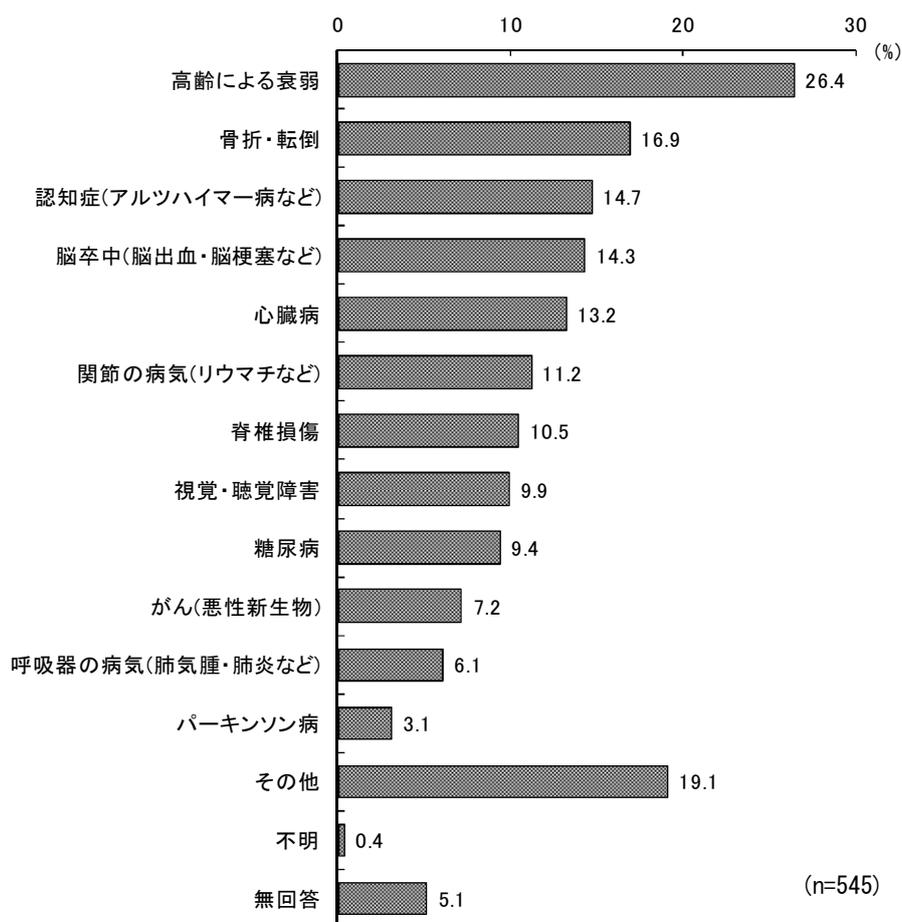
普段の生活で介護・介助が必要かどうかをたずねたところ、「必要ない」が69.3%、「必要だが、現在は受けていない」が6.1%、「受けている」が21.8%となっている。(図表9-1-6-①)

図表9-1-6-① 介護・介助の状況 (全体)



普段の生活で誰かの介護・介助は「必要だが、現在は受けていない」、現在、介護・介助を「受けている」と回答した人に、その原因疾患をたずねたところ、「高齢による衰弱(26.4%)」が最も多く、「骨折・転倒(16.9%)」、「認知症(アルツハイマー病など)(14.7%)」が続いている。(図表9-1-6-②)

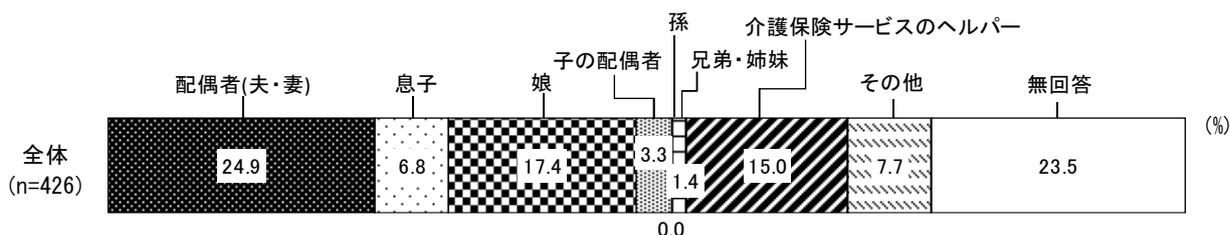
図表9-1-6-② 介護・介助が必要になった原因(全体:複数回答)
 <必要だが現在は受けていない人、受けている人>



現在、「介護・介助を受けている」と回答した人に、主な介護・介助者とその年齢についてたずねたところ、主な介護・介助者は、「配偶者(夫・妻) (24.9%)」が最も多く、「娘(17.4%)」「介護サービスのヘルパー (15.0%)」が続いている。(図表9-1-6-③) 年齢は、「65歳未満」が38.5%、65歳以上が44.1%となっている。(図表9-1-6-④)

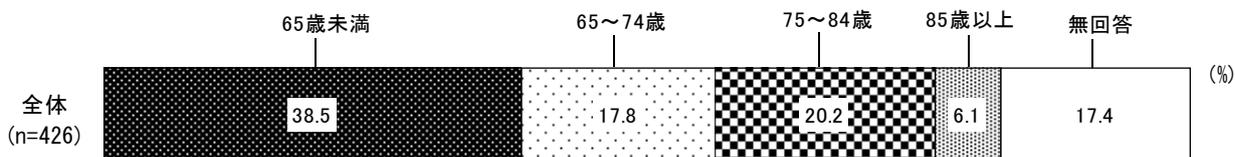
図表9-1-6-③ 主な介護・介助者 (全体)

<介護・介助を受けている人>



図表9-1-6-④ 主な介護・介助者の年齢 (全体)

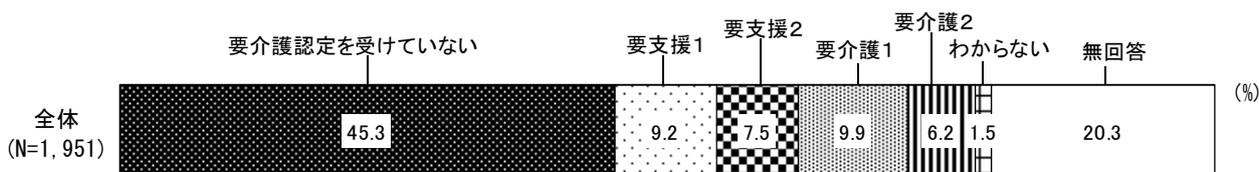
<介護・介助を受けている人>



(7) 現在の要介護度 (問7)

現在の要介護度は、「要介護認定を受けていない」が45.3%である。また、要介護認定を受けているのは合計すると32.8%となっており、その中では「要介護1」が9.9%で最も多くなっている。(図表9-1-7)

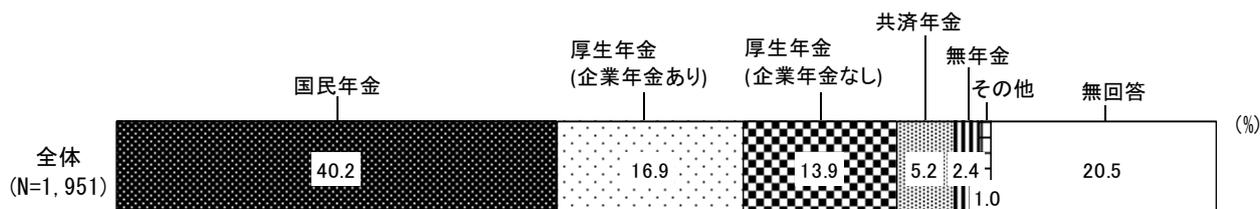
図表9-1-7 現在の要介護度 (全体)



(8) 年金の種類 (問8)

年金の種類は、「国民年金 (40.2%)」が最も多く、「厚生年金 (企業年金あり) (16.9%)」、「厚生年金 (企業年金なし) (13.9%)」、「共済年金 (5.2%)」が続いている。(図表9-1-8)

図表9-1-8 年金の種類 (全体)

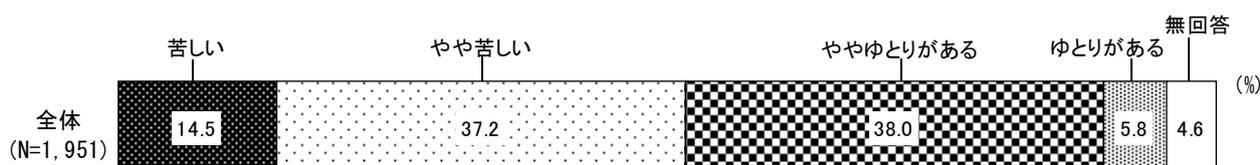


(9) 現在の暮らしの状況 (問9)

現在の暮らしの状況は、「苦しい」が14.5%、「やや苦しい」が37.2%であり、合計するとほぼ半数 (51.7%) の人が《苦しい》と回答している。(図表9-1-9-①)

年代別では、「65~74歳」で「苦しい (18.1%)」で他の年代より高い割合となっている。認定未認定別にみると、「要支援」では「やや苦しい (45.0%)」と「苦しい (11.6%)」を合わせると56.6%が《苦しい》と感じている。(図表9-1-9-②)

図表9-1-9-① 現在の暮らしの状況 (全体)



図表9-1-9-② 現在の暮らしの状況 (全体、年代別、認定未認定別)

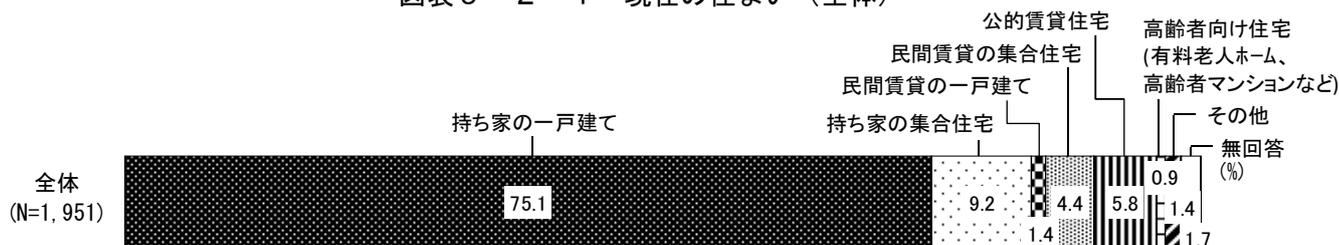
		(%)				
		苦しい	やや苦しい	ややゆとりがある	ゆとりがある	無回答
全	体 (N= 1,951)	14.5	37.2	38.0	5.8	4.6
年代別	40 ~ 64 歳 (n= 2)	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	65 ~ 74 歳 (n= 818)	18.1	39.9	33.6	5.6	2.8
	75 ~ 84 歳 (n= 759)	14.5	35.7	39.8	4.9	5.1
	85 歳以上 (n= 348)	6.3	34.5	44.5	8.3	6.3
認定未認定別	未認定 (n= 883)	13.4	35.7	42.5	6.1	2.4
	要支援 (n= 327)	11.6	45.0	33.3	5.5	4.6
	要介護 (n= 314)	13.4	38.9	39.5	6.1	2.2
	わからない (n= 30)	20.0	33.3	40.0	6.7	0.0

2 住まいについて

(1) 現在の住まい (問 10)

現在の住まいについてたずねたところ、「持ち家の一戸建て (75.1%)」が最も多く、「持ち家の集合住宅 (9.2%)」、「公的賃貸住宅 (5.8%)」が続いている。(図表 9-2-1)

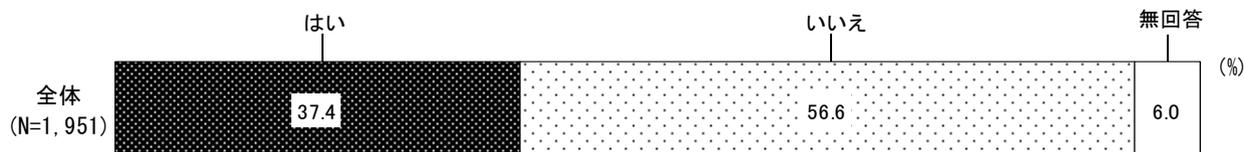
図表 9-2-1 現在の住まい (全体)



(2) 主に生活している部屋の階数 (問 11)

住まい(主に生活している部屋)の階数は2階以上かをたずねたところ、「はい」が37.4%、「いいえ」が56.6%となっている。(図表 9-2-2-①)

図表 9-2-2-① 主に生活している部屋の階数 (全体)



住まい(主に生活している部屋)が2階以上の人に、エレベーターが設置されているかたずねたところ、「はい」が23.6%、「いいえ」が73.8%となっている。(図表 9-2-2-②)

図表 9-2-2-② エレベーターの設置 (全体)

<主に生活している部屋が2階以上にある人>



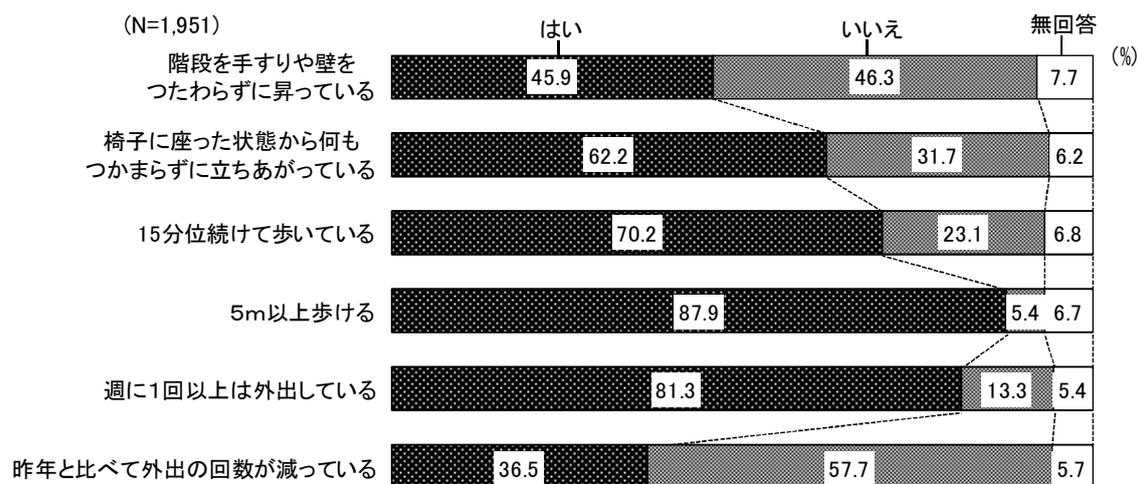
3 身体状況・外出の様子

(1) 身体状況・外出状況（問12）

身体状況や外出状況について、『階段を手すりや壁をつたわずに昇っている』、『椅子に座った状態から何もつかまらずに立ちあがっている』、『15分位続けて歩いている』、『5m以上歩ける』、『週に1回以上は外出している』、『昨年と比べて外出の回数が減っている』の6項目についてたずねた。「はい」の割合が高い項目は、『5m以上歩ける（87.9%）』、『週に1回以上は外出している（81.3%）』、『15分位続けて歩いている（70.2%）』が上位となっている。

一方、『階段を手すりや壁をつたわずに昇っている』は「いいえ（46.3%）」が「はい（45.9%）」を上回っている。（図表9-3-1）

図表9-3-1 身体状況・外出状況（全体）



(2) 外出を控えることの有無（問13）

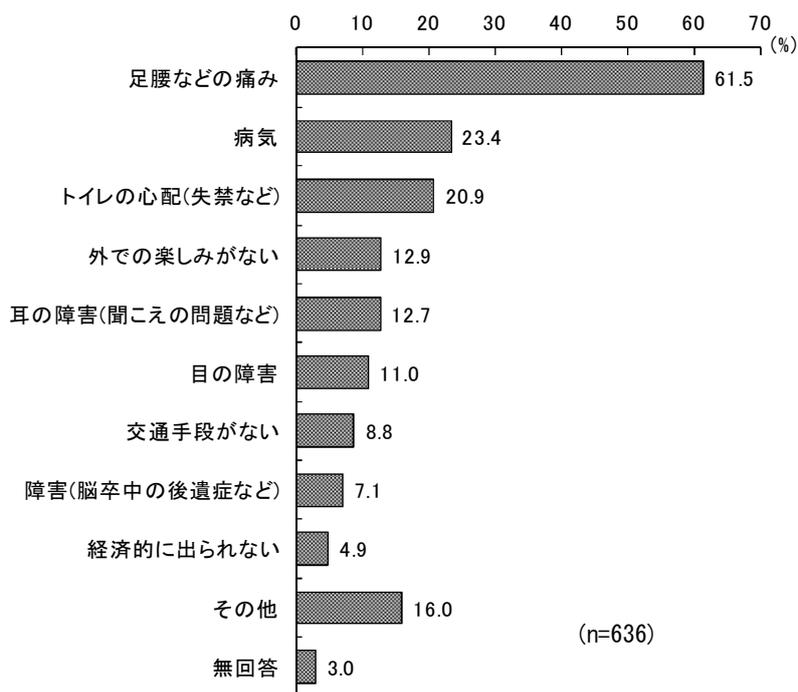
外出を控えることの有無は、「はい」が32.6%、「いいえ」が62.9%となっている。（図表9-3-2-①）

図表9-3-2-① 外出を控えることの有無（全体）



外出を控えていると回答した人に理由をたずねたところ、「足腰などの痛み (61.5%)」が最も多く、「病気 (23.4%)」、「トイレの心配 (失禁など) (20.9%)」が続いている。(図表9-3-2-②)

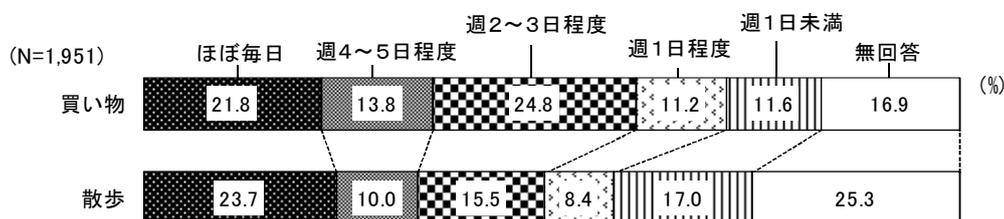
図表9-3-2-② 外出を控える理由 (全体：複数回答)
 <外出を控えていると回答した人>



(3) 外出頻度 (問 14)

買物と散歩について頻度をたずねたところ、買物は、「週2～3日程度 (24.8%)」が最も多く、「ほぼ毎日 (21.8%)」、「週4～5日程度 (13.8%)」が続いている。散歩は、「ほぼ毎日 (23.7%)」が最も多く、「週1日未満 (17.0%)」、「週2～3日程度 (15.5%)」が続いている。(図表9-3-3)

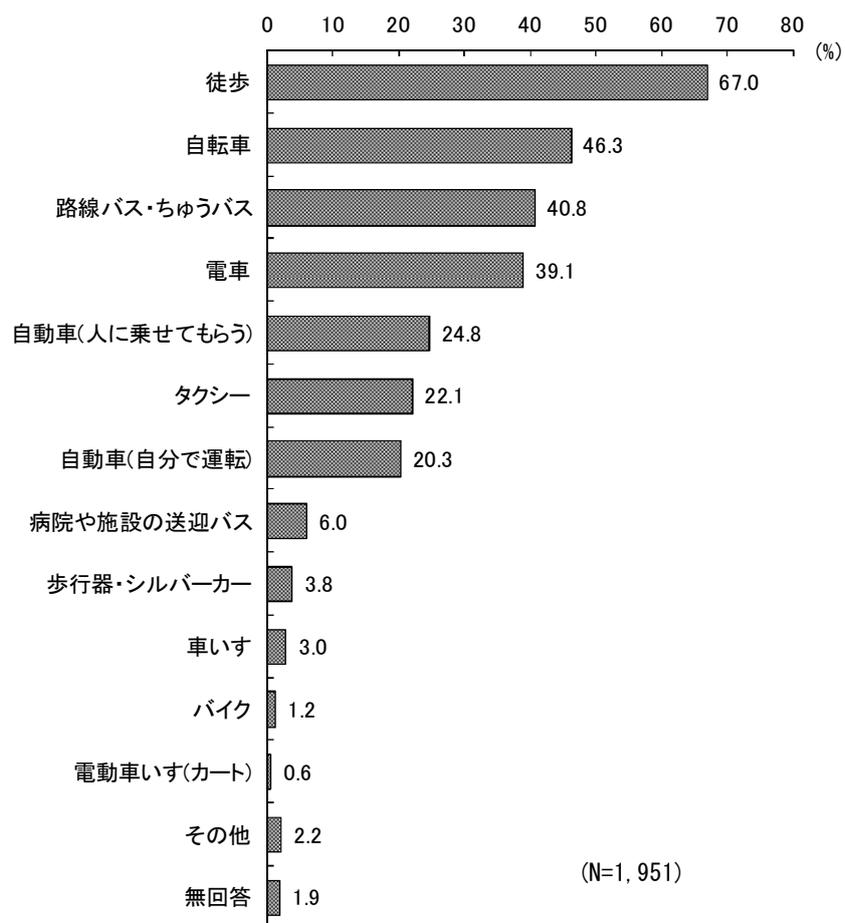
図表9-3-3 外出頻度 (全体)



(4) 移動手段 (問 15)

外出する際の移動手段は、「徒歩 (67.0%)」が最も多く、「自転車 (46.3%)」、「路線バス・ちゅうバス (40.8%)」が続いている。(図表9-3-4)

図表9-3-4 移動手段 (全体：複数回答)



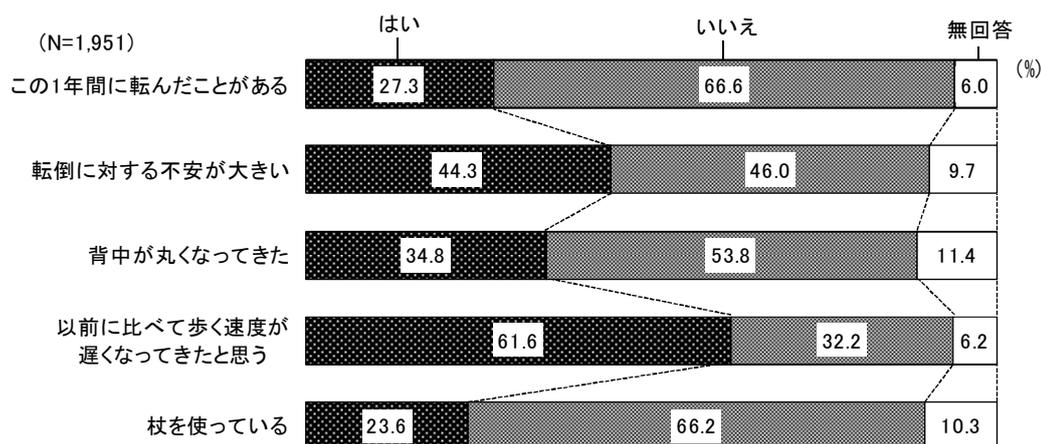
4 転倒について

(1) 転倒の経験や不安など（問16）

転倒について、『この1年間に転んだことがある』、『転倒に対する不安が大きい』、『背中が丸くなってきた』、『以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思う』、『杖を使っている』の5項目についてたずねた。

『この1年間に転んだことがある』に「はい」と答えたのは27.3%であるが、『転倒に対する不安が大きい』については「はい」が44.3%となっている。また、『以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思う』については、「はい(61.6%)」が「いいえ(32.2%)」を大きく上回っている。(図表9-4-1)

図表9-4-1 転倒の経験や不安など（全体）



5 身長・体重について

(1) 体重減少の有無 (問 17)

6 か月間での2～3 kg の体重の減少について、「はい」が16.7%となっている。(図表9-5-1)

図表9-5-1 体重減少の有無 (全体)



(2) BMI (Body Mass Index (肥満指数) の略) (問 18)

身長、体重からBMIを算出したところ、「18.5以上、25.0未満 (標準) (66.2%)」は約3分の2となっている。「25.0以上 (肥満)」は19.5%、「18.5未満 (やせ気味)」は9.2%となっている。(図表9-5-2)

図表9-5-2 BMI (全体)



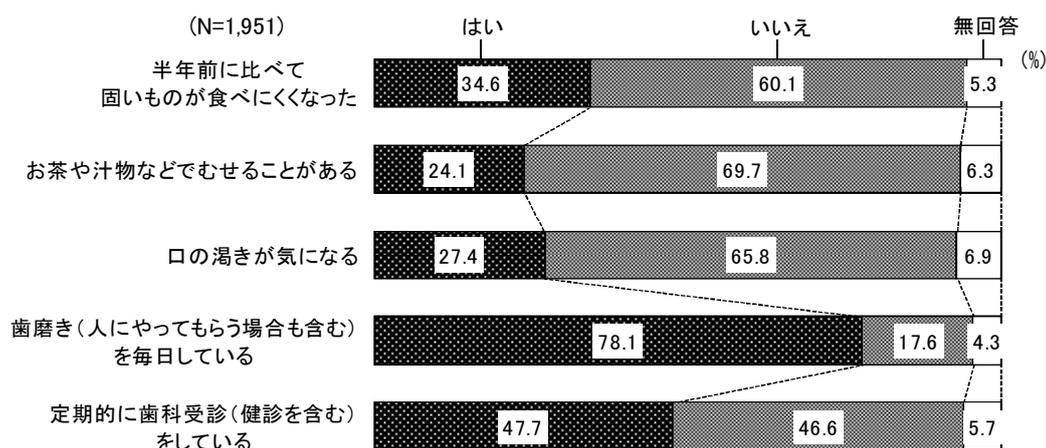
6 口腔や栄養について

(1) 口腔の様子 (問 19)

口腔の様子を『半年前に比べて固いものが食べにくくなった』、『お茶や汁物などでむせることがある』、『口の渇きが気になる』、『歯磨き (人にやってもらう場合も含む) を毎日している』、『定期的に歯科受診 (健診を含む) をしている』の5項目についてたずねた。

それぞれ「はい」の回答は、『半年前に比べて固いものが食べにくくなった』が 34.6%、『お茶や汁物などでむせることがある』が 24.1%、『口の渇きが気になる』が 27.4%となっている。『歯磨き (人にやってもらう場合も含む) を毎日している』は、「はい」が 78.1%で、『定期的に歯科受診 (健診を含む) をしている』は「はい」が 47.7%となっている。(図表 9-6-1)

図表 9-6-1 口腔の様子 (全体)



(2) 入れ歯の使用 (問 20)

入れ歯の使用は、「使用している」が 60.9%、「使用していない」が 36.6%となっている。(図表 9-6-2-①)

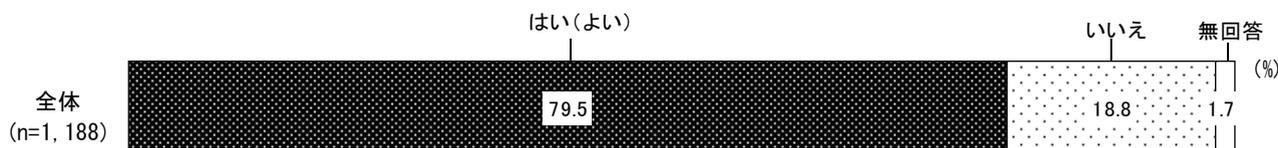
図表 9-6-2-① 入れ歯の使用 (全体)



入れ歯の噛み合わせについては、「はい（よい）」が79.5%、「いいえ」が18.8%となっている。（図表9-6-2-②）

図表9-6-2-② 入れ歯の噛み合わせ（全体）

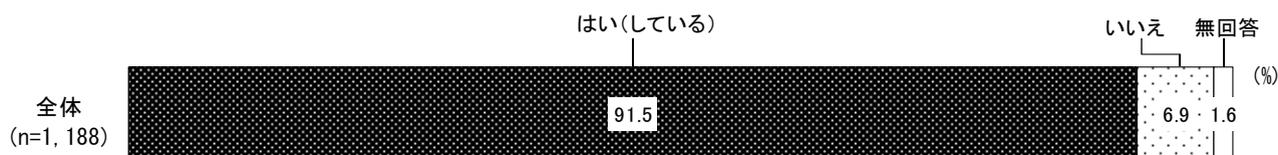
<入れ歯を使用している人>



毎日の入れ歯の手入れについては、「はい（している）」が91.5%となっている。（図表9-6-2-③）

図表9-6-2-③ 毎日の入れ歯の手入れ（全体）

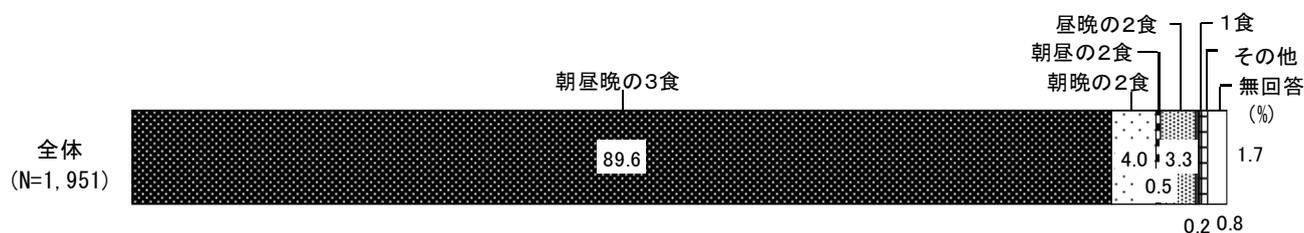
<入れ歯を使用している人>



(3) 食事の回数（問21）

1日の食事の回数をたずねたところ、「朝昼晩の3食（89.6%）」が9割近くであるが、「朝晩の2食（4.0%）」、「昼晩の2食（3.3%）」との回答もある。（図表9-6-3）

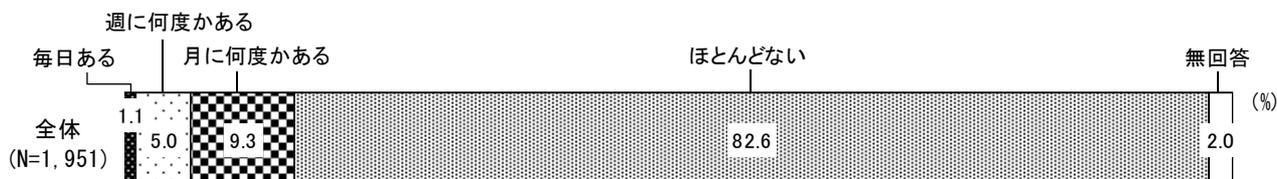
図表9-6-3 食事の回数（全体）



(4) 食事を抜くこと (問 22)

食事を抜くことについては、「ほとんどない (82.6%)」が最も多く、「月に何度かある (9.3%)」、「週に何度かある (5.0%)」が続いている。(図表 9-6-4)

図表 9-6-4 食事を抜くこと (全体)



(5) 誰かと食事をとる機会 (問 23)

誰かと食事をとる機会は、「毎日ある (60.4%)」が最も多く、「月に何度かある (12.6%)」、「週に何度かある (10.4%)」が続いている。(図表 9-6-5-①)

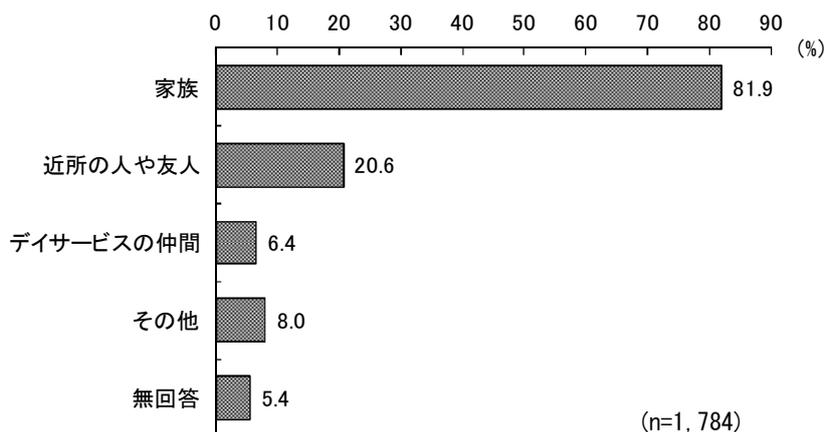
図表 9-6-5-① 誰かと食事をとる機会 (全体)



誰かと食事をとる機会があると回答した人に相手についてたずねたところ、「家族 (81.9%)」が最も多く、続く「近所の人や友人 (20.6%)」を大きく引き離している。(図表 9-6-5-②)

図表 9-6-5-② 食事をする相手 (全体：複数回答)

<誰かと食事をとる機会がある人>



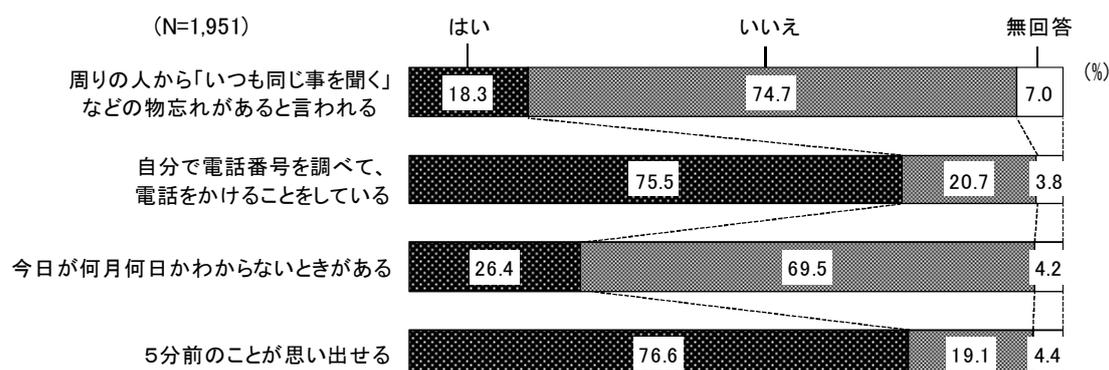
7 物忘れについて

(1) 物忘れの様子 (問 24)

物忘れの様子を、『周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるとと言われる』、『自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしている』、『今日が何月何日かわからないときがある』、『5分前のことが思い出せる』の4項目についてたずねた。

『周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるとと言われる』について「はい」と答えたのは18.3%、『自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしている』について「はい」と答えたのは75.5%である。また、『今日が何月何日かわからないときがある』について「はい」と答えたのは26.4%、『5分前のことが思い出せる』については「はい」と答えたのは76.6%である。(図表9-7-1)

図表9-7-1 物忘れの様子 (全体)



(2) 衣食などの判断 (問 25)

その日の生活（食事をする、衣服を選ぶなど）を自分で判断できるかについては、「困難なくできる」が80.4%で最も多く、「いくらか困難であるが、できる」が13.0%で続いている。(図表9-7-2)

図表9-7-2 衣食などの判断 (全体)



(3) 意思の伝達 (問 26)

人に自分の考えをうまく伝えられるかについては、「伝えられる」が80.1%、「いくらか困難であるが、伝えられる」が15.0%となっている。「あまり伝えられない (2.5%)」と「ほとんど伝えられない (0.6%)」を合わせて3.1%となっている。(図表9-7-3)

図表9-7-3 意思の伝達 (全体)



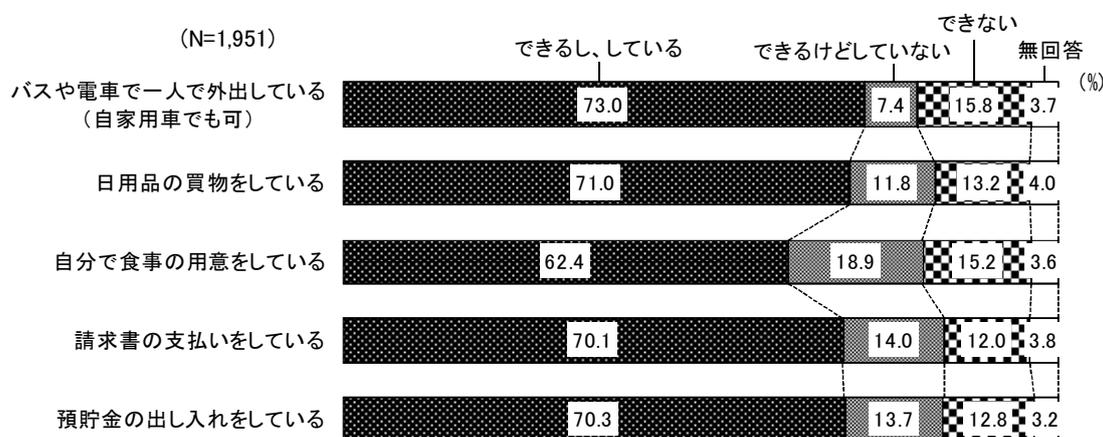
8 日常生活について

(1) 日常生活 (問 27)

日常生活について、『バスや電車で一人で外出している (自家用車でも可)』、『日用品の買物をしている』、『自分で食事の用意をしている』、『請求書の支払いをしている』、『預貯金の出し入れをしている』の5項目でたずねた。

「できるし、している」との回答は、『バスや電車で一人で外出している (自家用車でも可)』で73.0%、『日用品の買物をしている』は71.0%、『請求書の支払いをしている』は70.1%、『預貯金の出し入れをしている』は70.3%と、4項目で7割以上となっているが、『自分で食事の用意をしている』は「できるし、している」が62.4%となっている。(図表9-8-1-①)

図表9-8-1-① 日常動作の様子 (全体)



日用品の買物を「できるけどしていない」、「できない」と回答した人に、主に日用品の買物をする人をたずねたところ、「同居の家族（73.4%）」が最も多く、「別居の家族（9.2%）」、「ヘルパー（3.3%）」が続いている。（図表9-8-1-②）

図表9-8-1-② 日用品の買物をする人（全体）
 <日用品の買物を「できるけどしていない」「できない」と回答した人>



自分で食事の用意を「できるけどしていない」、「できない」と回答した人に、主に食事の用意をする人をたずねたところ、「同居の家族（84.0%）」が最も多く、「配食サービス利用（3.0%）」、「別居の家族（2.9%）」が続いている。（図表9-8-1-③）

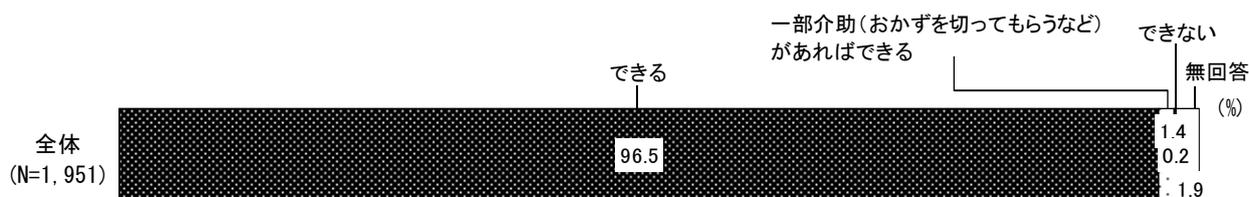
図表9-8-1-③ 食事の用意を主にする人（全体）
 <自分で食事の用意を「できるけどしていない」「できない」と回答した人>



(2) 食事を自分で食べること（問28）

食事を自分で食べることについては、「できる」が96.5%である。（図表9-8-2）

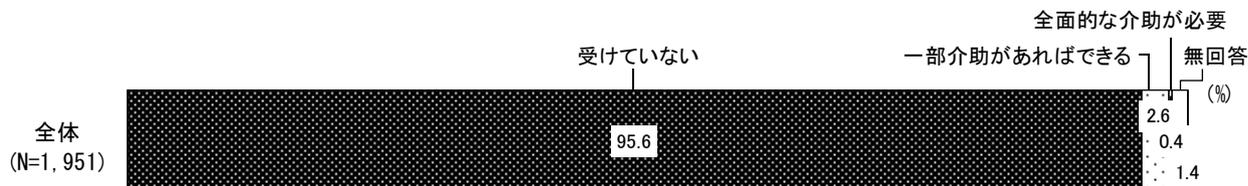
図表9-8-2 食事を自分で食べること（全体）



(3) 寝床に入る時 (問 29)

寝床に入るとき、何らかの介助を受けているかについては、「受けていない」が 95.6%となっている。(図表 9-8-3)

図表 9-8-3 寝床に入る時 (全体)



(4) 座る動作 (問 30)

座る動作については、「できる」が 91.2%となっている。(図表 9-8-4)

図表 9-8-4 座る動作 (全体)



(5) 洗面・歯磨き (問 31)

洗面や歯磨きについては、「できる」が 97.7%となっている。(図表 9-8-5)

図表 9-8-5 洗面・歯磨き (全体)



(6) トイレ (問 32)

自分でトイレに行き用をたすことについては、「できる」が 97.8%となっている。(図表 9-8-6)

図表 9-8-6 トイレ (全体)



(7) 入浴 (問 33)

入浴については、「できる」が91.2%、「一部介助(他人に支えてもらう)があればできる」が5.7%となっている。(図表9-8-7)

図表9-8-7 入浴 (全体)



(8) 50m以上の歩行 (問 34)

50m以上の歩行については、「できる」が88.5%、「一部介助(他人に支えてもらう)があればできる」が4.9%となっている。「できない」は5.5%である。(図表9-8-8)

図表9-8-8 50m以上の歩行 (全体)



(9) 階段の昇降 (問 35)

階段の昇り降りは、「できる」が84.6%、「介助があればできる」が8.5%となっている。「できない」は5.3%である。(図表9-8-9)

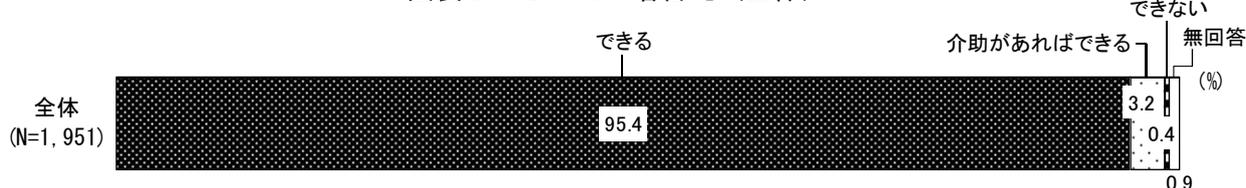
図表9-8-9 階段の昇降 (全体)



(10) 着替え (問 36)

着替えについては、「できる」が95.4%、「介助があればできる」が3.2%となっている。(図表9-8-10)

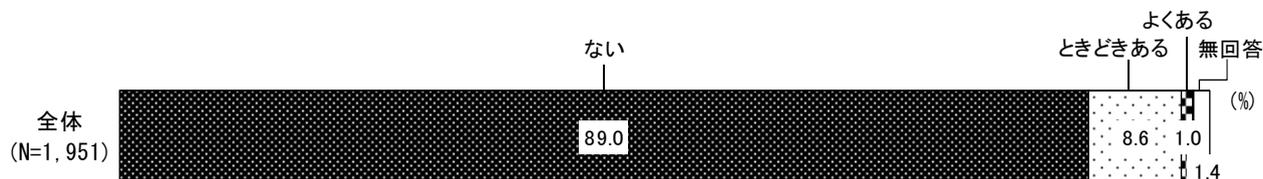
図表9-8-10 着替え (全体)



(11) 大便の失敗 (問 37)

大便の失敗は、「ない」が89.0%、「ときどきある」が8.6%となっている。(図表9-8-11)

図表9-8-11 大便の失敗 (全体)



(12) 尿もれや尿失禁 (問 38)

尿もれや尿失禁は、「ない」が67.4%、「ときどきある」が27.6%となっている。(図表9-8-12)

図表9-8-12 尿もれや尿失禁 (全体)



(13) 家事全般 (問 39)

家事全般は、「できている」が71.6%、「できていない」が26.2%となっている。(図表9-8-13)

図表9-8-13 家事全般 (全体)



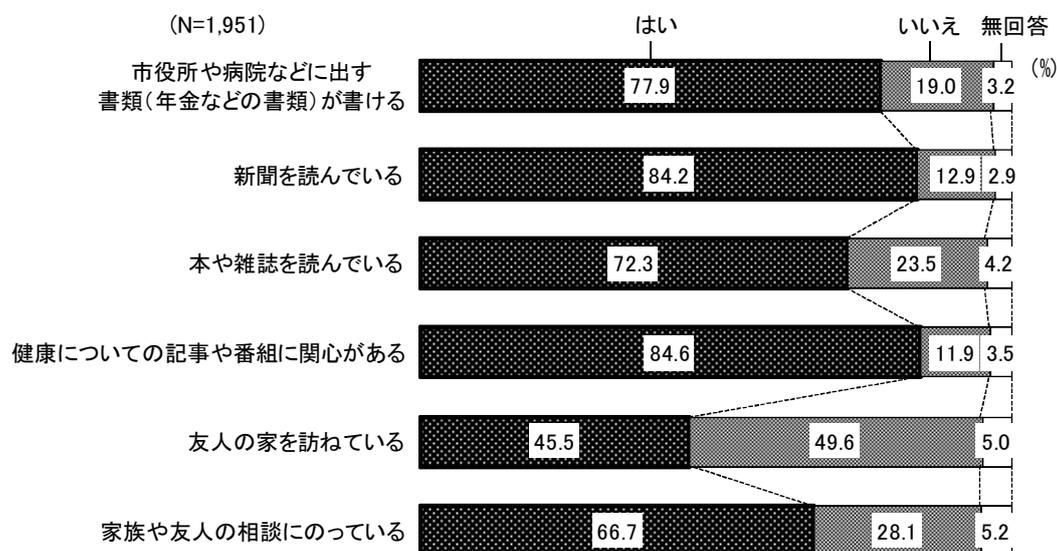
9 社会参加について

(1) 社会参加の様子（問 40）

社会参加について、『市役所や病院などに出す書類（年金などの書類）が書ける』、『新聞を読んでいる』、『本や雑誌を読んでいる』、『健康についての記事や番組に関心がある』、『友人の家を訪ねている』、『家族や友人の相談にのっている』の6項目でたずねた。

それぞれ「はい」の回答の割合は、『市役所や病院などに出す書類（年金などの書類）が書ける』が77.9%、『新聞を読んでいる』が84.2%、『本や雑誌を読んでいる』が72.3%、『健康についての記事や番組に関心がある』が84.6%と、書類や新聞、本やテレビなどを通じては、いずれも7割以上が社会参加をしている様子である。一方、人と接することを通じての社会参加である『友人の家を訪ねている』では「はい」の割合が45.5%、『家族や友人の相談にのっている』では66.7%となっている。（図表9-9-1）

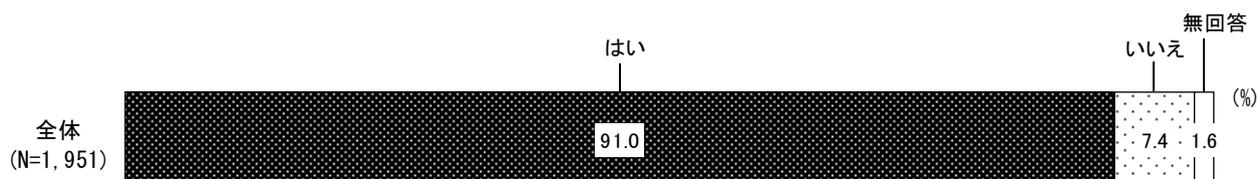
図表9-9-1 社会参加の様子（全体）



(2) 相談について (問 41)

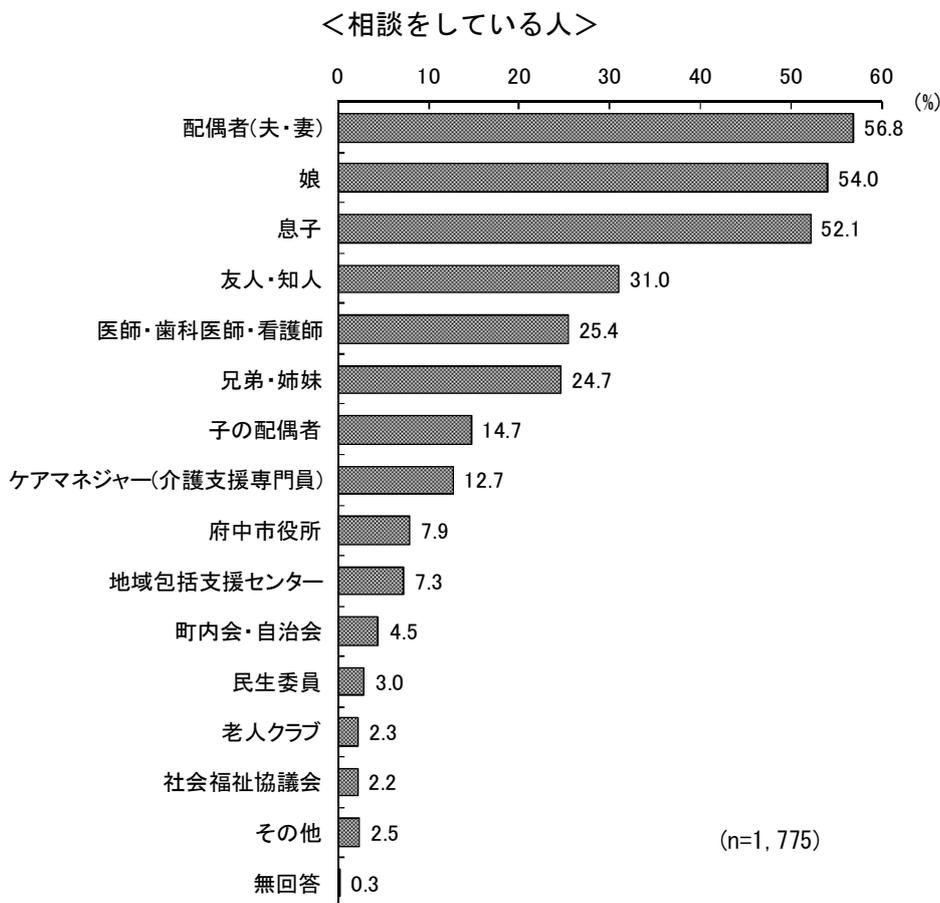
何かあったときに、家族や友人・知人などに相談をしているかどうかについては、「はい」が91.0%、「いいえ」が7.4%となっている。(図表9-9-2-①)

図表9-9-2-① 相談の有無 (全体)



相談をしている人に、相談する人や機関についてたずねたところ、「配偶者 (夫・妻) (56.8%)」が最も多く、「娘 (54.0%)」、「息子 (52.1%)」と続き、親族が上位を占めている。(図表9-9-2-②)

図表9-9-2-② 相談する相手 (全体：複数回答)

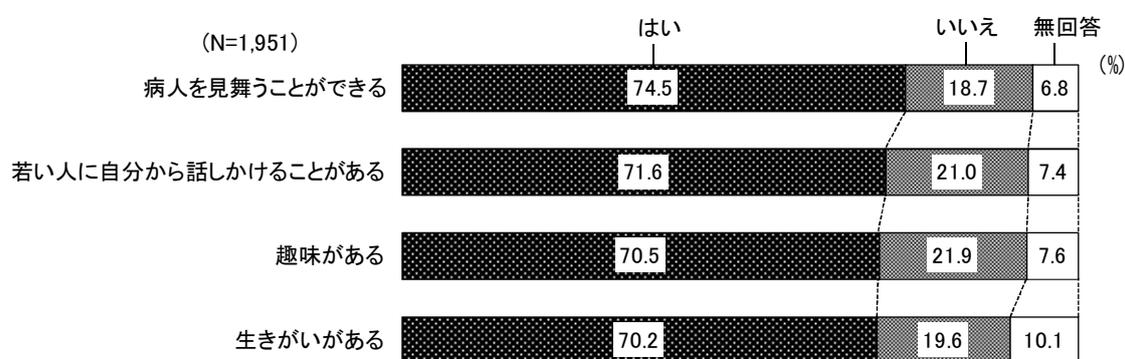


(3) 人とのかかわり (問 42)

日常生活における人とのかかわりについて、『病人を見舞うことができる』、『若い人に自分から話しかけることがある』、『趣味がある』、『生きがいがある』の4項目でたずねた。

それぞれ「はい」との回答の割合は、『病人を見舞うことができる』が74.5%、『若い人に自分から話しかけることがある』が71.6%、『趣味がある』が70.5%、『生きがいがある』が70.2%と、いずれも7割以上が日常生活のなかで人とかかわりを持っている様子が見られる。(図表9-9-3)

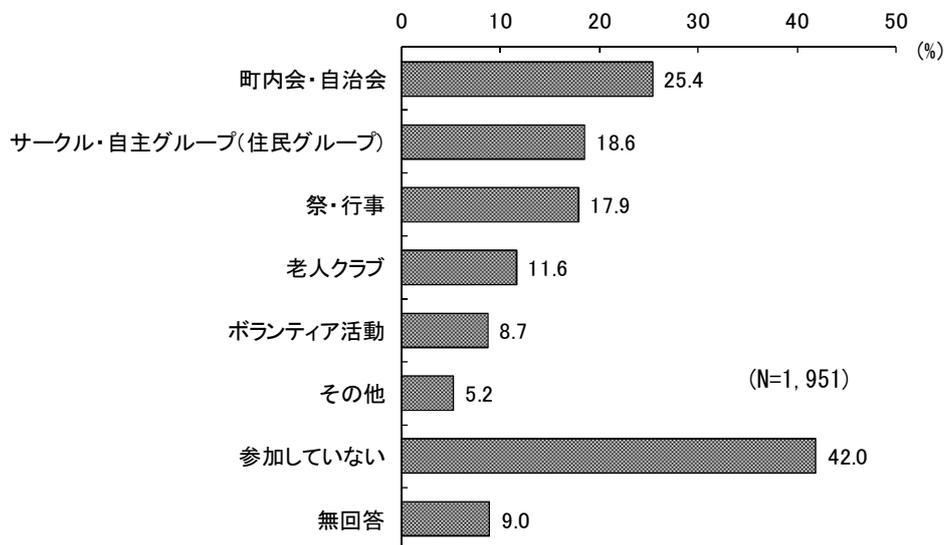
図表9-9-3 人とのかかわり (全体)



(4) 地域活動への参加 (問 43)

参加している地域活動は、「町内会・自治会 (25.4%)」が最も多く、「サークル・自主グループ (住民グループ) (18.6%)」、「祭・行事 (17.9%)」が続いている。「参加していない」は42.0%である。(図表9-9-4-①)

図表9-9-4-① 地域活動への参加 (全体：複数回答)



第2部 アンケート調査の結果

年代別にみると、「65～74歳」では「祭・行事」が25.2%と他の年代に比べ高い割合となっている。「75～84歳」では「老人クラブ」が16.2%と他の年代に比べ高い参加率である。「85歳以上」では「参加していない」が58.9%となっている。

地区別では、「第四地区」が「祭・行事(23.5%)」、「老人クラブ(14.3%)」が他の地区に比べて参加率が高くなっている。

認定未認定別にみると、ほとんどの活動の種類で「未認定」の参加率が高いが、「老人クラブ」については「要支援」が16.8%、「要介護」が10.8%と、「未認定」よりも高い参加率となっている。(図表9-9-4-②)

図表9-9-4-② 地域活動への参加（全体：複数回答）

(%)

		町内会・自治会	サークル・住民グループ・自主グループ	祭・行事	老人クラブ	ボランティア活動	その他	参加していない	無回答
全 体 (N= 1,951)		25.4	18.6	17.9	11.6	8.7	5.2	42.0	9.0
年代別	40～64歳 (n= 2)	50.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	65～74歳 (n= 818)	33.0	22.9	25.2	7.0	12.2	5.9	37.3	6.1
	75～84歳 (n= 759)	23.2	19.0	16.2	16.2	7.6	5.4	40.2	9.7
	85歳以上 (n= 348)	11.8	6.9	4.6	12.4	2.6	3.4	58.9	12.9
地区別	第一地区 (n= 353)	22.9	19.3	18.7	12.5	11.0	5.9	43.1	9.6
	第二地区 (n= 378)	29.1	18.8	20.9	13.8	7.9	4.8	39.9	8.7
	第三地区 (n= 368)	17.1	19.8	10.6	8.7	7.9	5.7	49.7	6.8
	第四地区 (n= 230)	27.4	17.4	23.5	14.3	9.1	5.2	38.3	8.3
	第五地区 (n= 280)	30.4	17.5	13.9	10.4	8.9	6.1	38.2	9.3
	第六地区 (n= 320)	27.5	18.1	21.6	11.3	7.8	3.8	40.6	10.0
認定未認定別	未認定 (n= 883)	34.1	24.9	24.6	10.0	13.8	6.6	34.2	4.9
	要支援 (n= 327)	11.0	11.6	4.9	16.8	2.8	3.1	53.5	10.1
	要介護 (n= 314)	8.6	6.7	5.1	10.8	2.2	4.5	63.7	11.8
	わからない (n= 30)	16.7	6.7	3.3	6.7	6.7	3.3	43.3	20.0

(5) グループ活動への参加 (問 44)

グループ活動への参加の頻度を、『ボランティアのグループ』、『スポーツ関係のグループやクラブ』、『趣味関係のグループ』、『老人クラブ』、『町内会・自治会』、『学習・教養サークル』、『その他の団体や会』の7項目でたずねた。

「参加していない」の割合をみると、『ボランティアのグループ (51.9%)』、『老人クラブ (50.5%)』、『学習・教養サークル (51.5%)』が5割を超え、『スポーツ関係のグループやクラブ (46.4%)』、『趣味関係のグループ (41.6%)』、『町内会・自治会 (41.6%)』、『その他の団体や会 (47.1%)』が4割台となっている。参加している割合の高い『趣味関係のグループ』では参加頻度のなかでは「月1～3回」が10.1%と最も多く、『町内会・自治会』の参加頻度では「年に数回」が18.1%と最も多くなっている。(図表9-9-5)

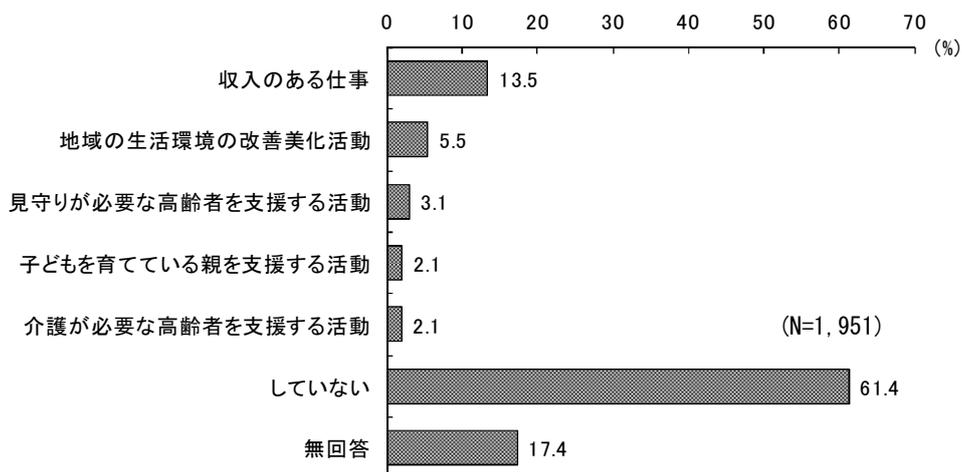
図表9-9-5 グループ活動への参加 (全体)

	(%)						
	週 4 回 以 上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
(N=1,951)							
ボ ラ ン テ ィ ア の グ ル ー プ	0.7	1.3	1.9	2.8	3.3	51.9	38.1
ス ポ ー ツ 関 係 の グ ル ー プ や ク ラ ブ	2.7	5.1	5.7	3.6	2.6	46.4	34.0
趣 味 関 係 の グ ル ー プ	1.6	5.1	7.2	10.1	4.9	41.6	29.5
老 人 ク ラ ブ	0.6	1.4	1.5	3.1	5.1	50.5	37.8
町 内 会 ・ 自 治 会	0.3	0.7	0.7	4.7	18.1	41.6	33.9
学 習 ・ 教 養 サ ー ク ル	0.5	0.8	1.5	3.0	2.8	51.5	40.0
そ の 他 の 団 体 や 会	0.7	1.1	1.6	3.3	6.6	47.1	39.7

(6) 社会参加活動や仕事 (問 45)

社会参加活動や仕事の参加状況は、「していない (61.4%)」が最も多く、「収入のある仕事 (13.5%)」、「地域の生活環境の改善美化活動 (5.5%)」が続いている。(図表 9-9-6)

図表 9-9-6 社会参加活動や仕事 (全体：複数回答)



(7) 助け合いの様子 (問 46)

まわりの人との助け合いの様子を、『あなたの心配ごとや愚痴(ぐち)を聞いてくれる人』、『反対に、あなたが心配ごとや愚痴(ぐち)を聞いてあげる人』、『あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人』、『反対に、看病や世話をしてあげる人』の4項目でそれぞれの相手をたずねた。

4項目とも最も多いのは「配偶者」である。次いで2番目にあがっている人はそれぞれの項目で異なり、『あなたの心配ごとや愚痴(ぐち)を聞いてくれる人』では「別居の子ども」、『反対に、あなたが心配ごとや愚痴(ぐち)を聞いてあげる人』では「友人」、『あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人』では「同居の子ども」、『反対に、看病や世話をしてあげる人』では「そのような人はいない」となっている。(図表9-9-7)

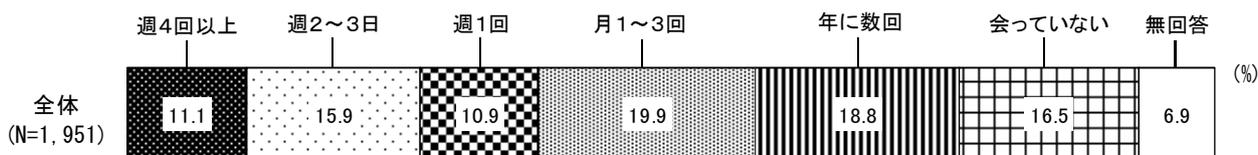
図表9-9-7 助け合いの様子 (全体：複数回答)

	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
(N=1,951)									
あなたの心配ごとや愚痴(ぐち)を聞いてくれる人	47.7	24.0	33.3	24.6	7.4	29.5	3.1	4.5	7.3
反対に、あなたが心配ごとや愚痴(ぐち)を聞いてあげる人	36.3	17.0	24.2	23.2	9.6	30.6	2.2	12.7	13.2
あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人	48.4	28.4	27.6	11.5	2.0	3.7	4.6	5.7	7.9
反対に、看病や世話をしてあげる人	40.4	14.9	13.0	13.5	2.1	4.3	2.7	25.4	16.2

(8) 友人関係 (問 47)

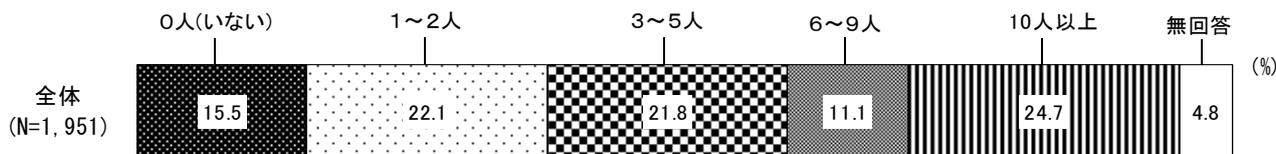
友人・知人と会う頻度は、「月1～3回 (19.9%)」が最も多く、「年に数回 (18.8%)」、「週に2～3日 (15.9%)」が続いている。一方、「会っていない」は16.5%となっている。(図表9-9-8-①)

図表9-9-8-① 友人・知人と会う頻度 (全体)



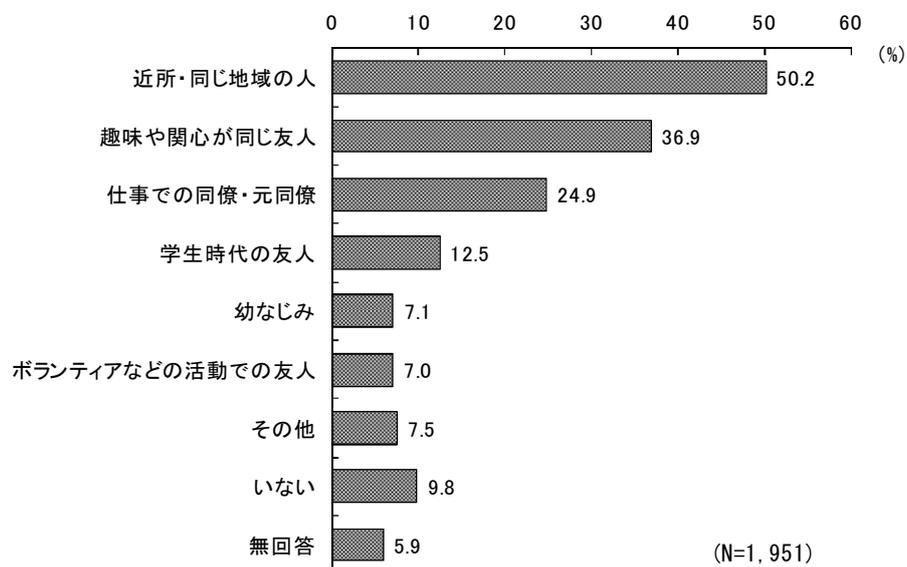
この1か月間で会った友人・知人の人数は、「10人以上 (24.7%)」が最も多く、「1～2人 (22.1%)」、「3～5人 (21.8%)」が続いている。(図表9-9-8-②)

図表9-9-8-② 1か月に会った友人・知人の人数 (全体)



よく会う友人・知人との関係は、「近所・同じ地域の人 (50.2%)」が最も多く、「趣味や関心が同じ友人 (36.9%)」、「仕事での同僚・元同僚 (24.9%)」が続いてい (図表9-9-8-③)

図表9-9-8-③ よく会う友人・知人との関係 (全体：複数回答)

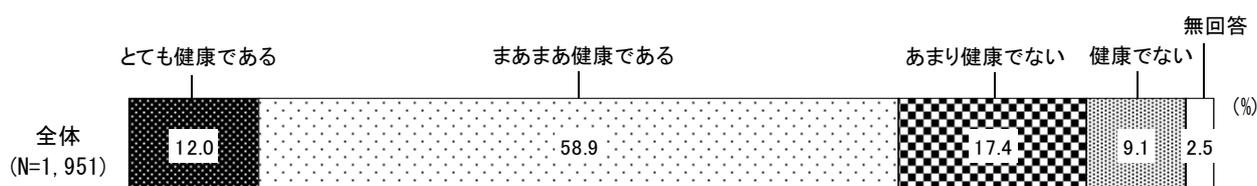


10 健康状態について

(1) 健康状態 (問 48)

健康の状態をたずねたところ、「まあまあ健康である (58.9%)」と「とても健康である (12.0%)」を合わせると 70.9%が《健康である》と感じている。(図表 9-10-1)

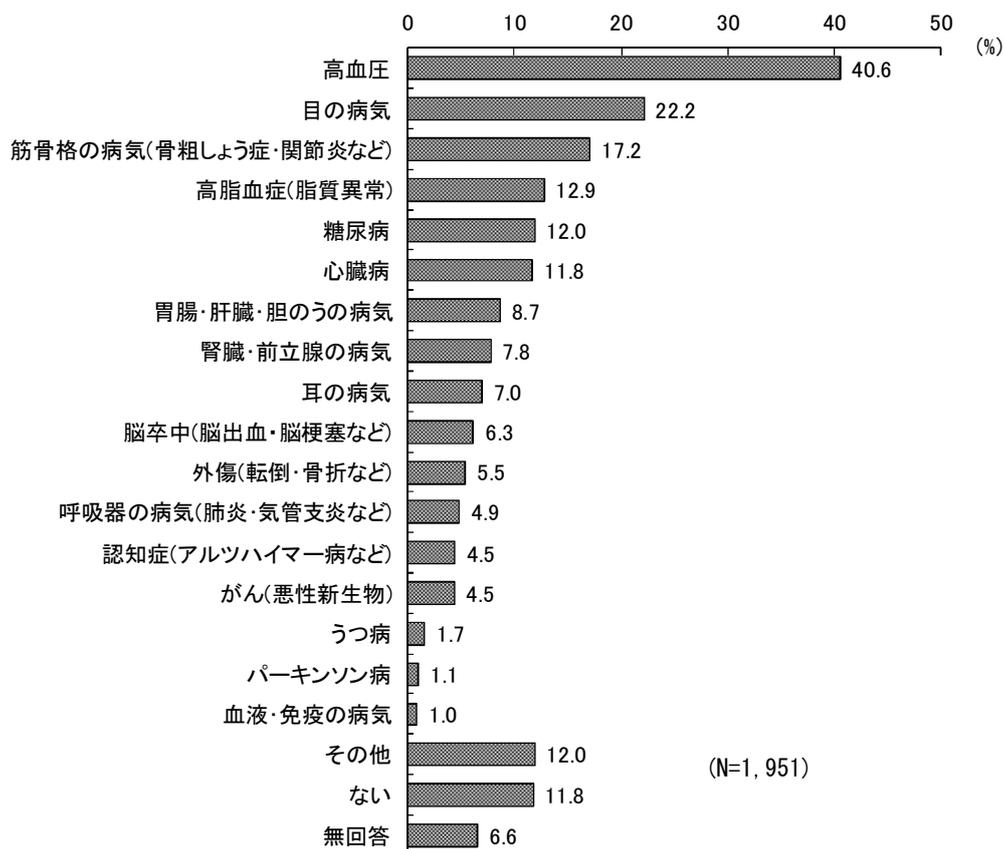
図表 9-10-1 健康状態 (全体)



(2) 治療中の病気 (問 49)

現在治療中、または後遺症のある病気については、「高血圧 (40.6%)」が最も多く、「目の病気 (22.2%)」、「筋骨格の病気(骨粗しょう症・関節炎など) (17.2%)」が続いている。「ない」との回答は 11.8%である。(図表 9-10-2)

図表 9-10-2 治療中の病気 (全体：複数回答)

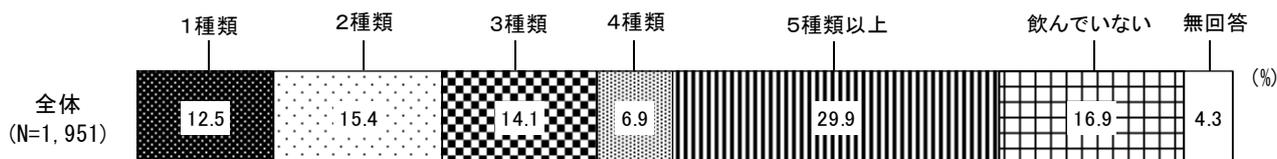


(3) 薬の種類 (問 50)

現在飲んでいる、医師の処方した薬の種類は、「5種類以上 (29.9%)」が最も多く、「2種類 (15.4%)」、「3種類 (14.1%)」が続いている。「飲んでいない」は16.9%となっている。

(図表 9-10-3)

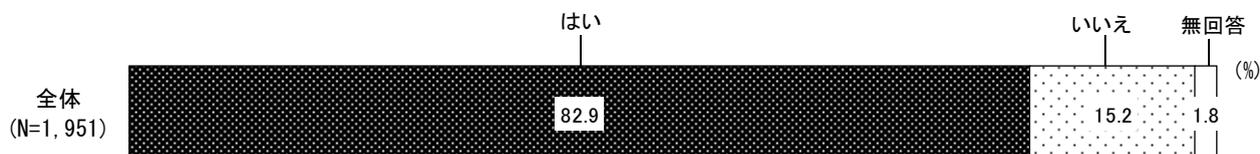
図表 9-10-3 薬の種類 (全体)



(4) 通院の様子 (問 51)

病院・医院 (診療所・クリニック) への通院は、「はい」が82.9%、「いいえ」が15.2%となっている。(図表 9-10-4-①)

図表 9-10-4-① 通院の有無 (全体)



通院している人に頻度をたずねた。「月1回程度 (50.7%)」が最も多く、次いで「月2~3回 (19.2%)」、「2か月に1回程度 (10.4%)」が続いている。(図表 9-10-4-②)

図表 9-10-4-② 通院の頻度 (全体)

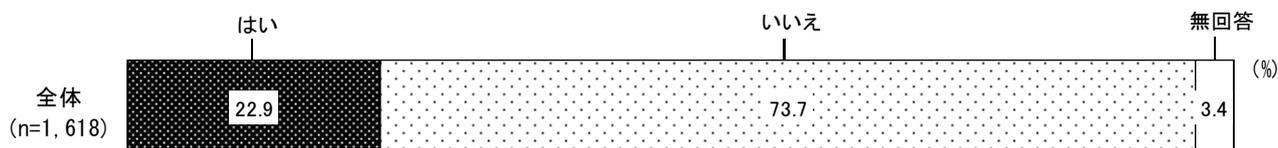
<通院している人>



通院している人に付添いが必要かどうかをたずねたところ、「はい」が22.9%、「いいえ」が73.7%となっている。(図表9-10-4-③)

図表9-10-4-③ 通院の付き添い(全体)

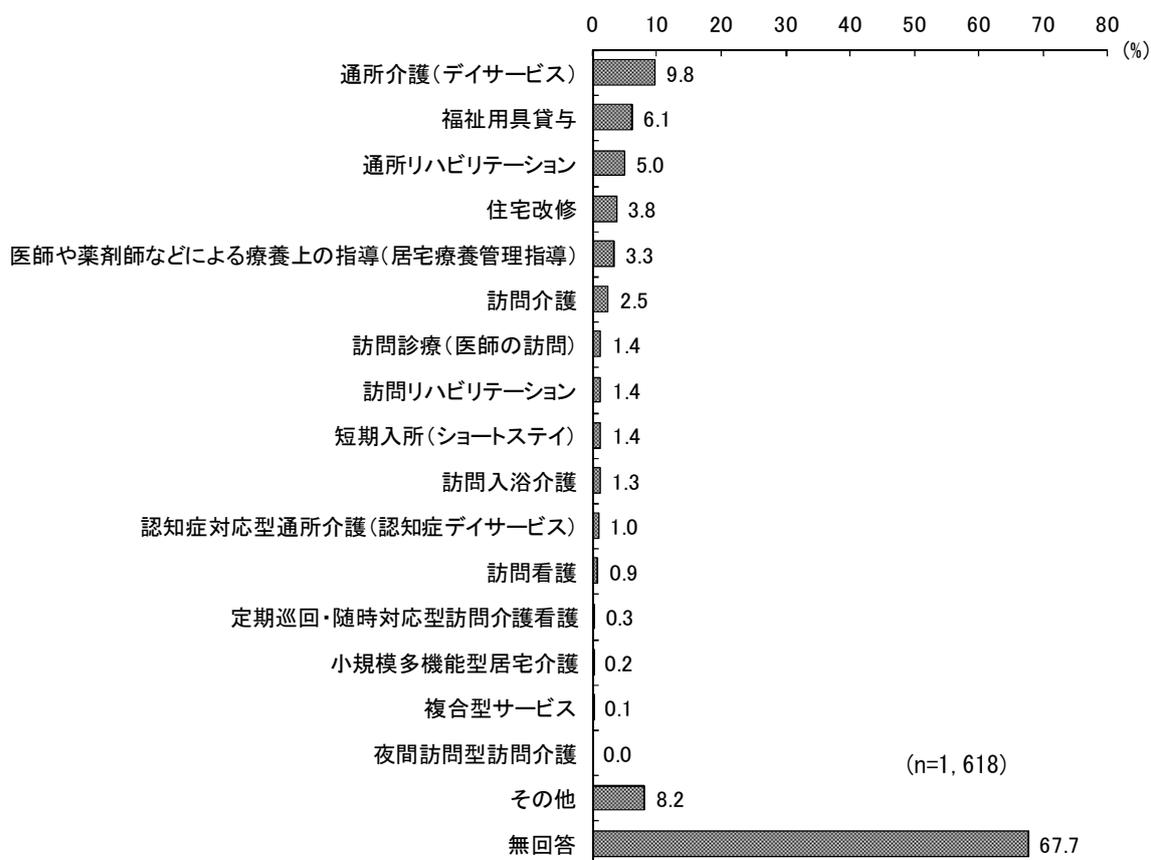
<通院している人>



通院している人に利用している福祉・医療サービスをたずねたところ、「通所介護(デイサービス)(9.8%)」が最も多く、「福祉用具貸与(6.1%)」、「通所リハビリテーション(5.0%)」が続いている。(図表9-10-4-④)

図表9-10-4-④ 利用している福祉・医療サービス(全体:複数回答)

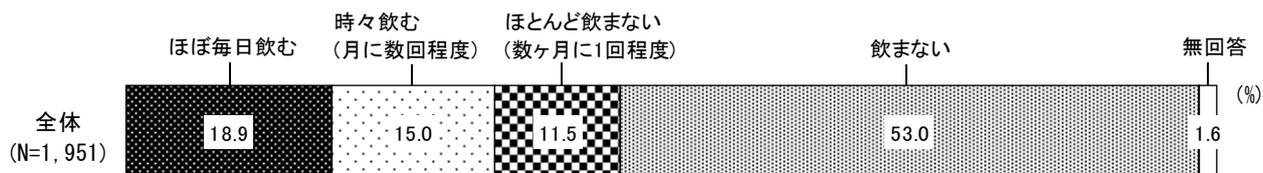
<通院している人>



(5) 飲酒の状況 (問 52)

飲酒の状況は、「飲まない (53.0%)」が最も多く、半数を超えている。「ほぼ毎日飲む」は18.9%となっている。(図表9-10-5)

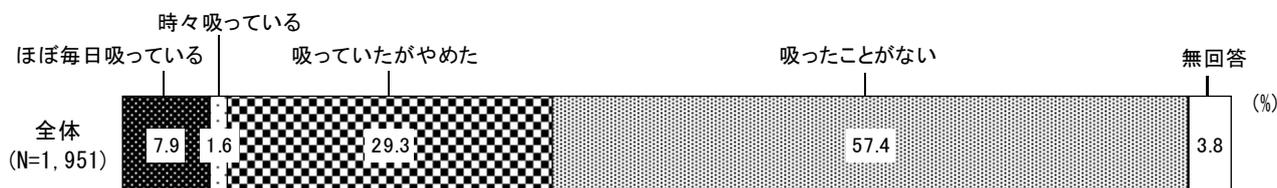
図表9-10-5 飲酒の状況 (全体)



(6) 喫煙の状況 (問 53)

喫煙の状況は、「吸ったことがない (57.4%)」が最も多く、半数を超えている。「吸っていたがやめた (29.3%)」と合わせると86.7%が《非喫煙者》である。(図表9-10-6)

図表9-10-6 喫煙の状況 (全体)

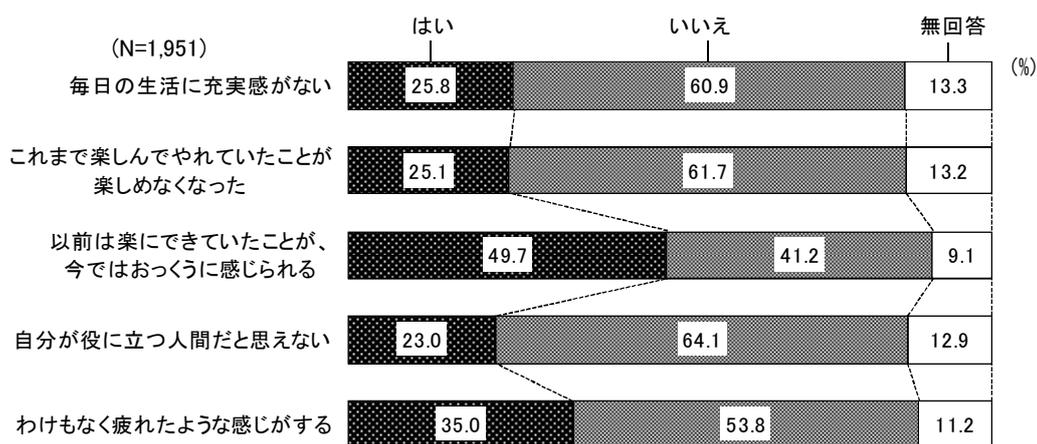


(7) 生活するうえでの気持ち (問 54)

ここ2週間の気持ちについて、『毎日の生活に充実感がない』、『これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった』、『以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる』、『自分が役に立つ人間だと思えない』、『わけもなく疲れたような感じがする』の5項目でたずねた。

「はい」の割合をみると、『毎日の生活に充実感がない』が25.8%、『これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった』が25.1%、『自分が役に立つ人間だと思えない』が23.0%と2割台となり、『わけもなく疲れたような感じがする』は35.0%と疲労感を感じる人は3割台となっている。また、『以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる』は「はい(49.7%)」が「いいえ(41.2%)」を上回っている。(図表9-10-7)

図表9-10-7 生活するうえでの気持ち (全体)



11 2次予防チェックリストの分析

2次予防チェックリストに関する項目として、「虚弱（うつに関する5項目を除いた20項目中、10項目以上が該当した場合）」「運動器の機能低下」、「低栄養」、「口腔機能の低下」、「閉じこもり」、「うつ」、「認知機能の低下」に関する7項目に該当する割合を算出した。

「認知症予防」該当者が41.6%、「うつ予防」該当者が37.3%、次いで「転倒」該当者が33.3%などとなった。

性・年代別にみると、男女とも65～74歳ではいずれも該当割合が低いですが、75～84歳になると急激に上昇し、85歳以上では特に女性の該当割合が「運動機能の向上」などで高い割合となる。（図表9-11-1）

図表9-11-1 2次予防チェックリスト項目
(全体、性別、年代別、性・年代別)

		虚弱	運動機能の向上	栄養改善	口腔機能の向上	閉じこもり予防	転倒	うつ予防	認知症予防	
		(%)								
全	体 (N= 1,951)	12.9	29.6	2.8	23.1	13.3	33.3	37.3	41.6	
性別	男性 (n= 754)	8.0	21.0	3.4	20.4	9.4	28.4	35.9	42.0	
	女性 (n= 1,183)	16.1	35.2	2.5	24.9	15.8	36.5	38.2	41.5	
年代別	40～64歳 (n= 2)	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	65～74歳 (n= 818)	5.6	15.3	1.2	15.4	4.2	21.6	26.5	32.4	
	75～84歳 (n= 759)	13.6	32.9	3.6	25.3	14.9	35.7	42.6	42.8	
	85歳以上 (n= 348)	28.7	56.6	4.9	36.5	31.6	56.6	51.4	60.3	
性・年代別	男性-40～64歳 (n= 1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	男性-65～74歳 (n= 345)	4.1	11.0	1.2	16.2	2.9	21.2	27.2	34.5	
	男性-75～84歳 (n= 298)	10.4	26.2	4.0	24.2	12.4	32.6	43.6	46.3	
	男性-85歳以上 (n= 107)	14.0	38.3	8.4	24.3	22.4	40.2	43.0	55.1	
	女性-40～64歳 (n= 1)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	女性-65～74歳 (n= 472)	6.8	18.4	1.3	14.8	5.1	22.0	25.8	30.9	
	女性-75～84歳 (n= 459)	15.7	37.3	3.3	25.9	16.6	37.5	42.0	40.5	
	女性-85歳以上 (n= 241)	35.3	64.7	3.3	41.9	35.7	63.9	55.2	62.7	

12 IADL、社会的役割、知的能動性、生活機能総合評価

本調査では、老研式活動能力指標に沿った設問が設けられ、高齢者の比較的高次の生活機能を評価するIADL項目（Instrumental Activity of Daily Living）、社会的役割、知的能動性、生活機能総合評価が設定されている。

これらを性・年代別にみると、女性は74歳まではIADL、知的能動性が保たれ、社会的役割も点数が高いが、85歳以上になると男性より低下する程度が大きくなっている。（図表9-12-1）

図表9-12-1 IADL、社会的役割、知的能動性、生活機能総合評価
（全体、性別、年代別、性・年代別）

（%）

	IADL手段の自立度				知的能動性				社会的役割				生活機能総合評価			
	高い	やや低い	低い	無回答	高い	やや低い	低い	無回答	高い	やや低い	低い	無回答	高い	やや低い	低い	無回答
全体 (N= 1,951)	71.0	7.2	15.4	6.4	57.9	17.5	17.6	7.0	36.8	19.6	32.1	11.5	55.5	11.5	17.0	16.0
性別	男性 (n= 754)				女性 (n= 1,183)											
	67.9	12.2	13.8	6.1	59.7	19.5	14.2	6.6	34.2	21.1	33.7	11.0	55.8	12.7	15.5	15.9
	73.0	4.1	16.6	6.3	57.0	16.1	19.9	7.1	38.4	18.9	31.2	11.6	55.3	10.8	18.0	15.9
年代別	40～64歳 (n= 2)				65～74歳 (n= 818)				75～84歳 (n= 759)				85歳以上 (n= 348)			
	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	85.9	4.9	5.6	3.5	71.0	16.3	8.3	4.4	53.2	19.1	19.8	7.9	72.7	9.0	7.1	11.1
	69.6	8.4	15.0	7.0	55.7	17.0	19.4	7.9	30.8	22.5	34.4	12.3	51.1	14.0	17.3	17.7
	39.1	10.3	39.4	11.2	33.0	21.0	35.6	10.3	10.6	15.2	56.9	17.2	23.9	12.6	40.2	23.3
性・年代別	男性-40～64歳 (n= 1)				男性-65～74歳 (n= 345)				男性-75～84歳 (n= 298)				男性-85歳以上 (n= 107)			
	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	78.3	10.4	7.5	3.8	64.9	21.4	10.1	3.5	45.8	20.6	25.5	8.1	67.8	11.9	9.3	11.0
	63.1	14.4	16.1	6.4	58.1	17.8	16.4	7.7	28.5	23.2	38.3	10.1	50.3	14.8	18.5	16.4
	47.7	12.1	27.1	13.1	46.7	18.7	21.5	13.1	12.1	16.8	48.6	22.4	31.8	10.3	28.0	29.9
	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	91.5	0.8	4.2	3.4	75.4	12.5	7.0	5.1	58.5	18.0	15.7	7.8	76.3	7.0	5.5	11.2
	73.9	4.6	14.4	7.2	54.2	16.3	21.4	8.1	32.5	22.2	31.8	13.5	51.9	13.3	16.6	18.3
	35.3	9.5	44.8	10.4	27.0	22.0	41.9	9.1	10.0	14.5	60.6	14.9	20.3	13.7	45.6	20.3

13 自由回答（問 55）

高齢者保健福祉や介護保険について、意見・要望を自由記述形式でたずねたところ、全体で327件の回答があった。以下、主なものを掲載する。

保険料・税金等の経済的負担について：36件

- ・ 介護保険の料金が75歳になったらたいへん高いので驚きました。もう少し安くないか。支払いが大変です。（女性、75～79歳）
- ・ 自分が介護を受ける状態になったらと思うと、現在保険料が高いのもしかたないかなと思いつながら、もう少し保険料が安くないものかと思う。（男性、75～79歳）
- ・ 今期10月より共済年金が大幅に減額された上に介護保険、国民保険さらに個人住民税が多く引かれてとてもショックです。先行きが不安でいろいろ考えると夜眠れず困っています。（女性、75～79歳）

助かっている・感謝している：35件

- ・ 地域包括支援センターの方には大変お世話になり感謝しております。市の方々には、これからもよろしくお願いします。（男性、80～84歳）
- ・ 高齢者保健福祉、介護保険、行き届いておりますので安心して医者にも診療機関にもかかれて大変助かっております。ありがとうございます。（女性、85～89歳）
- ・ 自分は現在74歳、まあまあ体も良く、妻の介護ができるのでうまくいっています。府中市の介護については本当に良くしてくださいますて助かっています。（男性、70～74歳）

市のサービスへの不満・要望：34件

- ・ 府中市の体操教室に参加しています。近隣の友人と楽しく体を動かしています。年3期（1期9回）ですが、あと1期増やせないでしょうか。（女性、70～74歳）
- ・ 日ごろ外出不可能な老人へのサービスとして出張ボランティア制度を設けてもらいたい。日常の仕事やサービスではなく、相互に楽しめる囲碁の対戦相手を派遣する制度など。（男性、80～84歳）
- ・ 民間の食事宅配サービスがありますが、身近な地域の中にそうしたものと安心です。（有料ボランティア）。（女性、70～74歳）

介護保険制度・サービスについて：33件

- ・ 週2回デイケアのお世話になっています。施設での対人関係には気を遣っています。年1回の介護認定の結果が大変気になります。リハビリの担当者がその都度変わるより、ある程度担当者が同じ人であることを希望します。（男性、80～84歳）
- ・ デイサービスへ週2回行っているが、利用者の介護度の判定が納得できない人がいる。（男性、70～74歳）
- ・ 要支援1と要支援2の方も市町村が行う介護予防サービスに出席できるようにして頂きたい

と思います。これは切実なお願いでございます。（女性、65～69歳）

- ・ 介護保険を払っているのに介護を受ける時に料金を取られるのは納得できない。（女性、70～74歳）

施設整備について：28件

- ・ 年金内で生活できる介護施設が少ない。（女性、90～94歳）
- ・ どの市町村でも同じだと思いますが、介護施設がもっと多く出来ればと思います。特養が要介護3になったら入所となりましたが、要介護1、2でも家族は大変な思いをしている方がたくさんいらっしゃいます。（女性、80～84歳）
- ・ 老人ホームも待たずに安い費用で入れるようにしてほしい（民間の有料のところはとても入れませんので）。（女性、75～79歳）

将来の生活・暮らしの不安：20件

- ・ 歩行が不自由になった時の生活をどうしたらいいか。（男性、70～74歳）
- ・ 近い将来介護が必要になる可能性があると思うのですが、一人住まいなので不安になる。金も多く持っていないので有料老人ホームにも入れず、死に方が難しいと思います。（男性、65～69歳）
- ・ 今後看護などが必要になった時、病院、医療、看護、介護をする立場の方々がどのような気持ちでやっていただけるか不安です。自分らしい生活、安心・安全な生活できるのか。（女性、70～74歳）

アンケートについて：20件

- ・ 「はい」、「いいえ」の二者択一では回答できない間がある。その時の状況で異なる場合が多いので、確実な回答が出来ないので困る。（男性、75～79歳）
- ・ 今回のこの調査についてはひとり暮らしの人には無理と思います。（男性、65～69歳）

高齢者の自覚ない・現状は必要ない：17件

- ・ お陰さまで毎日元気に働いていますので、それが運動につながっていると思い、老体をおしてがんばっていますので、自分の身体が介護していただくなどまだ先に思えてなりません。（女性、65～69歳）
- ・ 高齢者生活に入って間もないため実感がありません。年を重ねると出てくると思います。毎日が元気で楽しくと心がけています。（女性、65～69歳）

福祉施策、制度について：17件

- ・ 年々高齢者サービスが廃止になっています。ますます元気で過ごせるように、元気な老人にお気を遣ってください。（女性、75～79歳）
- ・ 自分が高齢になり、いざサービスを受ける時になってスムーズに受けられるか疑問ですが、簡単に受けられるシステムにしてほしいと思います。（女性、65～69歳）

健康づくり・医療について：17件

- ・ 近隣に総合病院がなく、通院に苦労します。交通費も大変です。（女性、85～89歳）
- ・ 自立した生活をできる限り長くしたいと考え 50歳からスポーツジムに通っています。健康で自立した生活は医療費の抑制につながると 생각합니다。是非、費用の一部を助成して頂けたらと切に希望いたします。（女性、65～69歳）

介護者支援に対する要望、介護の感想：12件

- ・ 5年前に主人は亡くなりましたが、私ひとりで3年間自宅で介護しました。24時間一人で介護しました。寝たきりでしたので、私も未だ左腕の痛みが取れません。現在はどうかしているかわかりませんが、もう少し介護の方にいろいろな家事をしてもらえるようにしてほしいと思いました。（女性、75～79歳）【介護者】
- ・ 現在要介護4の主人の介護をしています。デイサービス、ショートステイを利用しておりますが、どんどん体力が無くなり、かなりきつくなってきています。ケアマネジャーもよくしてくださりますが、経済的にぎりぎり状態、これ以上の手助けをしていただくわけにもいかず、気の重い日々を送っています（女性、70～74歳）【介護者】

生きがい・社会参加について：10件

- ・ 高齢者でも年齢によってもできることが違うので、外に出て楽しめるメニューを数多く用意してほしい。介護保険をなるべく使わずに済むように仲間づくりに、頭や体を使ったメニューをお願いします。（女性、65～69歳）
- ・ 他人に迷惑をかけないためにも、毎日家内と外出し、時にはフォーリス内の喫茶店、外の甲州街道沿いの喫茶店に入り、話好きの老人達とも話しています。近くに住む高校時代の友人や元同僚とも会うようにしています。（男性、75～79歳）

現在の体調、暮らしの様子など：9件

- ・ 今まで病気をしたことがありませんでしたが、82歳過ぎてから骨髄がんになり主人の世話になって病院に行っています。元気な時はいろいろなところで皆さんのお手伝いをしておりましたが、今は病気のため何もできません。健康はありがたいと思いました。（女性、80～84歳）
- ・ 残りの人生をなるべく人に頼らず、できることは自分でやりたいとの気持ちはあるのですが、体がついていかないし、やる気が起きない。（女性、75～79歳）

環境・地域づくりについて：8件

- ・ 一年前から車椅子で散歩しているが、通りづらい道や危険な道が多い。実際4回転倒した。車椅子の通りやすい道を整備してほしい。（男性、65～69歳）
- ・ 最近自転車に乗る人が多く、年齢を問わず、もの凄いスピードで走る人や真後ろで突然携帯を使う人など、杖を頼りに行動する人はとても怖い思いをします。（男性、85～89歳）

よく分からない：7件

- ・ 利用したことがないので分からない。（男性、70～74歳）
- ・ 情報がないので分からない。（女性、70～74歳）

自助努力が大切：5件

- ・ 70代半ばになります。周囲の方々も介護予防の意識は高く自助努力に努めています。理由の第一は子ども達も自分たちの生活で手一杯なのは良く分かるので「寄りかかる」ことは出来ないという思いです。高齢者への支援は若い世代への手助けにも関連するとも言えますので、今後とも府中市の高齢者向け行政の充実拡充を期待しております。（女性、70～74歳）

相談、情報について：3件

- ・ 相談の窓口についての情報が入手しにくい。成年後見の相談窓口など。小規模多機能型居宅介護などの情報が得にくい。（女性、85～89歳）

勉強したい：2件

- ・ まだ身近に感じていないので、よく理解していきたいです。（男性、65～69歳）

その他：14件

- ・ 先の日本が心配になります。（女性、65～69歳）
- ・ 85歳過ぎての年のせいで、これが自然なのだと思います。（女性、85～89歳）